

令和5年度第6回 契約・調達委員会 審査概要

<p>開催日時 及び場所</p>	<p>令和5年12月1日（金）及び 12月4日（月） 書類の回議による審議</p>	
<p>出席委員</p>	<p>世界陸上財団 事務次長（委員長） 川瀬 航司 弁護士 原澤 敦美 公認会計士 黒石 匡昭 世界陸上財団 総務企画部長 田近 隆 世界陸上財団 財務部長 前山 琢也 世界陸上財団 業務開発部長 小林 あかね 世界陸上財団 競技運営部長 徳弘 欣也 （敬称略・7名）</p>	
<p>審査案件</p>	<p>件名 1</p>	<p>仮設構築物等に係る発注支援業務委託 （※ 件名変更）</p>
<p>契約方法</p>	<p>特別契約 ※ 10月23日～10月30日に入札受付した希望制指名競争入札において、入札者がいなかったため、財務規程第35条第4号二により、特別契約に移行</p>	
<p>概要</p>	<p>○ 世界陸上の会場に設置する仮設オーバーレイ施設（プレハブ、テント等）については、工期短縮等を図るため、設計及び施工を一括で発注するデザインビルド（DB）方式により整備する予定 ○ DB方式の発注に向けては、国際大会に求められる条件や対応等を整理する必要があるため、以下の業務を委託</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① DB発注条件等の整理（設計、工事に必要な与条件の整理） ② DB要求水準書案の策定 ③ 概算工事費の検討 ④ 整備スケジュール最適化の検討 ⑤ 大会時に必要な電力供給方法の検討 ⑥ 法令上（建築、消防関係）の諸条件の調査</p> </div>	

審査結果

案件1について、契約締結前（契約候補者、契約金額）の審査を実施し、了承された。

（案件1について）

○黒石委員（12月1日）

入札の不調を受けて、財務規程に基づき、特別契約に移行し、契約候補者が決まった経緯等は承知した。

今回の契約において、CCMJ（認定コンストラクション・マネージャー）の資格保有を入札参加要件としていたことが参加事業者を狭めることにつながっていたのなら、今後はより幅広く事業者が参加できるように入札参加要件を考えた方がよいと思う。

○小林委員（12月1日）

制度上、受託者が協力会社体制を取ることは可能か。

⇒ 事務局

契約書で、本件委託業務の全部又は主要な部分を一括して第三者に委託してはならないとしているが、あらかじめ書面により委託者の承諾を得た場合は可能である。また、その他の業務の一部を委託することは可能である。

○原澤委員（12月4日）

希望申請を出しながら、入札辞退に至った2社はともにJV（共同企業体）での参加を希望していた。今回の契約では、仕様書に明記していないためJVでの参加が認められない事情は理解したが、今後は、東京都の取扱いに関わらず、契約の内容や必要性を踏まえて、JVでの参加を柔軟に認める方向で検討してもよいと思う。

委員の主な意見
（要旨）